

1. 平成26年度概算要求の概要

- 当省の科学技術関係予算における平成26年度概算要求額は、対前年度比15%の増額。
- 厳しい財政状況の中、戦略的イノベーション創造プログラムの財源として36億円を拠出。

(百万円)

区 分	平成25年度 当初予算額	平成26年度 概算要求額	対前年度比
科学技術関係予算	99,548	114,730	115.3
科学技術振興費	93,064	102,555	110.2
うち独立行政法人運営費交付金等 (競争的資金等を除く)	70,922	74,607	105.2
委託プロジェクト研究	9,734	10,174	104.5
競争的資金等	6,633	8,146	122.8
科学技術イノベーション創造推進費	0	3,610	-
その他の科学技術関係予算	6,484	12,175	187.8

※ 復興特別会計を含む。

2. 「攻めの農林水産業」の展開に資する研究開発

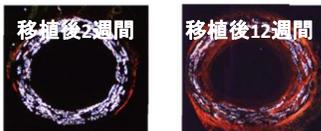
- 「攻めの農林水産業推進本部」において、今後の戦略の方向として、①需要のフロンティアの拡大、②生産から消費までのバリューチェーンの構築、③生産現場（担い手、農地等）の強化の3つの方向性を提示。
- 科学技術イノベーション総合戦略等との整合・連携を図りつつ、これらの3つの方向性に即して、農林水産研究開発を重点化。

攻めの農林水産業 推進本部

3つの戦略 の方向

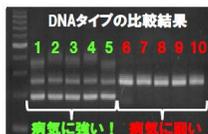
① 需要のフロンティア の拡大

小口径絹人工血管



新需要
の創出

② 生産から消費まで のバリューチェーン の構築



育種の
スピード
アップ

③ 生産現場(担い手、 農地等)の強化



生産性の
向上

平成26年度要求における主な事業の概要

【需要フロンティア拡大のための 研究開発】 674(561)百万円

- 国産農産物の多様な品質の非破壊評価技術の開発
- 養殖ブリ類の輸出促進のための低コスト・安定生産技術の開発
- 医薬品作物、医療用素材等の開発

【技術でつなぐバリューチェーン構築のための 研究開発】 3, 146(3, 014)百万円

- ゲノム情報を活用した農産物の次世代生産基盤技術の開発
- 海外植物遺伝資源の収集・提供強化(新規)
- 広域・大規模生産に対応する業務・加工用作物品種の開発
- 地域資源を活用した再生可能エネルギー等の利活用技術の開発

【生産現場強化のための研究開発】 2, 716(2, 002)百万円

- 低コスト・省力化、軽労化技術等の開発
- 生産環境の変化等に対応した技術の開発
- 持続可能な養殖・漁業生産技術の開発
- 国際競争力確保のための先端技術展開事業(新規)

【民間活力を活かした研究の推進】(新規) 3, 000(-)百万円

- 民間活力を活かした研究を推進するため、
- 全国に配置したコーディネーターによる生産現場のニーズや技術シーズの収集等を支援
 - 民間企業等の事業化に向けた研究開発の支援
 - 医療や工学などの異分野の産学との共同研究を支援

実需者等と連携した品種開発の強化

日本再興戦略において、新品種・新技術の開発・普及等により「強み」のある農畜産物の創出を進めることとされており、実需者等との一体的な品種開発の強化を以下のとおり実施

- ゲノム情報を活用した農産物の次世代生産基盤技術の開発、海外植物遺伝資源の収集・提供強化、業務・加工用作物品種の開発(再掲)
- 試験研究機関等が所有する埋もれた品種等の育種素材をデータベース化・PRすることにより新たなニーズの創出等を行う「オンデマンド品種情報提供事業」を実施(70百万円)(新規)
- 競争的資金の中に新たに特別枠を設け、農産物の「強み」を生み出す品種育成を支援(400百万円)(新規)

3. 平成26年度科学技術重要施策アクションプランにおける主な対象施策

政策課題	重点的課題	重点的取組	主な対象施策
エネルギー	クリーンなエネルギー供給の安定化と低コスト化（生産）	エネルギー源・資源の多様化	・ 地域バイオマス資源を活用したバイオ燃料及び化学品等の生産のための研究開発 【3,146百万円の内数】
次世代インフラ	インフラの安全・安心の確保	効果的かつ効率的なインフラ維持管理・更新の実現	・ 農業水利施設の長寿命化に資する性能評価・性能向上技術の開発プロジェクト 【2,716百万円の内数及び123百万円の内数】
地域資源	科学技術イノベーションの活用による農林水産業の強化	ゲノム情報を活用した農林水産技術の高度化	・ ゲノム情報を活用した農産物の次世代生産基盤技術の開発 【3,146百万円の内数】 ・ 異分野融合による革新的なシーズ培養研究推進事業 【2,875百万円の内数】 など
		医学との連携による高機能・高付加価値農林水産物の開発	・ 農林水産物の機能性解明とテーラーメイドシステム構築プロジェクト（H24補正予算） など
		IT・ロボット技術等による農林水産物の生産システムの高度化	・ IT・ロボット技術等の活用による農業生産システムの高度化プロジェクト 【2,716百万円の内数】 ・ 水産業再生に向けた研究開発 【2,716百万円の内数及び674百万円の内数】 など
復興再生	地域産業におけるビジネスモデルの展開	革新的技術・地域の強みを活用した産業競争力強化と雇用創出・拡大等	・ 食料生産地域再生のための先端技術展開事業 【2,400百万円】 など